

上越市立教育センター

244号

所報

令和5年5月19日発行

発行：上越市大字下門前 1770 番地
上越市立教育センター
所長 竹内 学
E-mail jecenter@jorne.or.jp
URL <http://www.jecenter.jorne.ed.jp>



ウェルビーイングな学校

所長 竹内 学

これからの学校は、どんな学校を目指すべきなのでしょう？そのヒントが、中教審の「次期（第4期）教育振興基本計画についての答申」（R5.3.8）にありました。

答申では、今後の教育政策の総括的な基本方針として、「持続可能な社会の創り手の育成」と「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」を掲げ、両者の相互循環的な実現を目指していますが、ここでは、後者に関わって、耳慣れない「ウェルビーイング」とは何かについて触れます。中教審が答申した教育政策のコンセプトですから、今後の教育の方向性を示すものとなっていくと思われるからです。

では、「ウェルビーイング（Well-being）」とは何でしょうか。答申の言葉を借りると、「身体的・精神的・社会的に良い状態にあること」で、生きがいや人生の意義など将来にわたる持続的な幸福も含み、個人だけでなく、地域、社会が持続的に良い状態であることも含む包括的な概念です。加えて、日本では、人とのつながりや関係性が幸福感にとって重要な意味をもつことから、世界で言われるウェルビーイングにこの要素を加えて「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」としています。「誰もが将来にわたって幸せや生きがいを感じ、地域や社会も幸せや豊かさを感じられる状態のこと」と私なりに解釈しました。

実現に向けては、子どもから大人まで、一人一人が持続可能な幸せな社会の創り手となっていくことが必要で、教育は極めて重要な役割を有していると述べています。

おもしろい本を見つけました。「99%の小学生は気づいていない！？ウェルビーイングの魔法」（Z会）という本です。この本には、自分自身が幸せを感じながら生き、周りをも幸せにしていく方法＝ウェルビーイングになる方法が紹介されています。その方法を、子どもも先生も日常の中で意識して実践していくと、学校が誰もが幸せを感じる場所（ウェルビーイングな場所）になっていくというのです。

「ウェルビーイングな学校」は、子どもも教師も家庭も地域も「幸せの創り手」に育てていく学校です。これからのスクールマネジメントのヒントになるとは思いませんか。

教育センターは、今年度も、学校の取組を応援し、子どもたちの幸せを応援するために、教職員の学びの場を用意すると共に、教育相談の各事業を展開してまいります。ぜひ主体的に、どしどしご活用ください。

「所報」は、教育センターのホームページでも公開しています。ご覧ください。

教育センターの
ホームページの
QRコードです。
ご活用ください。



令和5年度 教育センター実施事業・メンバーの紹介

教育研究部

教育資料部



竹下由加理 清水登紀子 加藤喜美江 内藤 雅代 岩片 嘉和 高橋 栄介 中村 博子 品田やよい 横山 正夫 曾根原 至 山崎 彰 萱森 孝宏 間島 広明 吉越 良子



上越理科センターはあなたの理科授業をサポートします。

新採用の方、久しぶりに理科を教える方、まわりに実験や観察方法について相談する人がいない方、初めて上越市に勤める方、幅広く理科の知識を身に付けたい方、そんなあなたに寄り添います。

- ◆研修では授業にすぐ使える教材がもらえます。
- ◆実験が成功するコツを紹介します。
- ◆授業づくりの方法を紹介します。

アンケートシステム申込期間が過ぎても、10日前まで追加申し込みができます。上越理科センターは8:30~18:00まで所員がいます。

先生方の困り感にいつでも相談にのります。

情報教育部「教育DXの推進」



仁田 裕子 高島 奈央 木浦 聡美 小山かおり 竹内 久美 遠藤 栄志 藤田賢一郎 久保田季樹 竹内 毅 吉野 百恵 池田 詩織 渡辺 正夫

◆教職員研修講座にご参加ください。

どの講座も参加して良かった！と思っただけのように、内容を工夫し魅力ある研修を計画しています。参加した研修は研修履歴として記載できるよう県の教員等育成指標を示してあります。4月1日配付の職員研修案内をご覧ください！

上越カリキュラムの理念と実際に学ぶ研修も計画しています。理念を継承して学校づくりに生かしてください。

◆ピアサポート授業づくり事業では、授業力向上や授業づくりに役立つ授業動画を作成中です。録画のご協力をお願いします。

◆第12期夢しごと元気塾は、各教科の講師陣のマンツーマン指導で塾生の授業力や教師としての力量の向上を目指します。

◆所報をデータ配信としました。読みたいときに自由にお読みいただけます。

科学研究部



丸山 恵 齋藤 俊明 木原 義季 稲葉 浩一

DXは「デジタルトランスフォーメーション」の略で、デジタル技術を駆使して業務に変革を起こすことです。教育DXは、デジタル技術を導入、駆使することで、指導方法を改善して子供たちによりよい学習を実現したり、教職員の業務の効率化を図ったりして、子どもたちも教職員もわくわくするような変革をねらいとしています。情報教育部では教育DXを推進し、ICT機器整備や、活用方法の研修、各校での利活用の支援を行います。

なお、授業をはじめとする各種教育活動におけるICT利活用についての研修は、今年度から「教育研究部」が行います。

教育相談部

◆学校訪問カウンセラーによる教育相談

小学校全 47 校を、10 名の学校訪問カウンセラーが分担し、学校の子どもたち、教職員、保護者を対象に、不登校やいじめに関する相談をはじめ、様々な相談に応じます。また、学校と保護者等の関係者との連絡調整や、関係機関との連携に関わる情報提供等の支援を行います。

◆学校外で行う「来所相談」（連絡先：P4 参照）

中央教育相談所（教育センター内）南・北教育相談所（CoCoMo 南・北）で受け付けます。

◆電話「子どもほっとライン」

電話は 24 時間受け付けます。025 - 543 - 2199

◆新規事業「電子メール相談」

アドレスは、jecsoudan@jorne.or.jp です。
尚、メールへの返信は平日 9:00~16:00（土日、休日、年末年始除く）に対応します。

学校訪問カウンセラー



宮澤 忠明	岩島由起子	西田 美樹	乾 千賀子	間間 久子	遠藤 俊幸	相澤 圭子	藤田 由江	富永 清文	横山 祐己
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

◆「カウンセリング研修」の開催

- ・夏期：7/31(金)、8/1(月)・2(火)
- ・冬期：12/25(月)・26(火)・27(水)

教育相談、生徒指導や学級経営等に活用できる講座です。今、抱えている課題や悩みの解決策を模索している方、力量アップを目指す方…。是非ご参加ください。

教育支援室 子ども未来サポート CoCoMo 北・南



CoCoMo 北 CoCoMo 南

諏訪 安貞・片山亜梨早 目細 敏子・田中 敦

4 月から、「適応指導教室」を「子ども未来サポート CoCoMo」に名称を変えて新たに出発しました。

不登校児童生徒への個別指導や体験活動などとおして、学校復帰をはじめとした社会的自立ができるよう支援いたします。南・北教室それぞれ 2 人の指導員体制で、学び直しを意識した学習支援、社会性の向上を視野に入れた活動支援を展開いたします。「CoCoMo は、家庭と学校以外のもうひとつの新しい居場所！」このスタンスで、通室生一人一人の通室スタイルに合わせ、個々のニーズに応えながら、子どもの未来に向けたサポートができるように役割を果たしてまいります。

じょうえつあんしんサポートチーム（JAST）が設置され 14 年目を迎えました。

創設時の学校からの相談内容は、暴力等の非行問題が多かったのに対し、近年では、子どもの特性からくる集団不適應の問題や、不登校児童生徒の対応へと変わってきています。

不登校児童生徒数が全国的にも増加している中で、私たちは、不登校児童生徒への支援に対する基本的な考え方として、「学校に登校する」ことだけを目標にするのではなく、子どもが自らの進路を主体的に捉えて社会的に自立していくことを目指さなければなりません。

JAST は一人一人の子どもが抱える課題に沿った支援を、学校や保護者と連携して進めています。全ての子どもの学びが保障され、すこやかに成長していけるよう、今後とも取り組んでいきます。

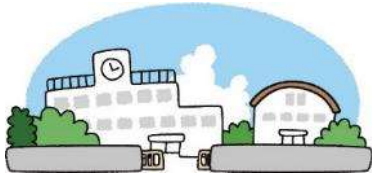
じょうえつあんしんサポートチーム (JAST)



宮澤 忠明	吉越 良子	藤田 由江	小山 明	鈴木真理子	加藤 一穂	山崎 彰	梶原亜紀子	加藤喜美江
-------	-------	-------	------	-------	-------	------	-------	-------



教育センター組織図



ご活用ください!



子どもの心に近づく



「安心して来室できる相談室に」

学校訪問カウンセラー
 富永 清文

来所相談

来所相談は、保護者、教職員の皆さんや子どもたちが、学校生活や家庭生活などで悩んでいること・困っていることについて相談所を訪れて相談するものです。

- ◇中央教育相談所 (教育センター内)
- ◇南教育相談所 (CoCoMo 南)
- ◇北教育相談所 (CoCoMo 北)

- ◎相談日 月曜日～金曜日 (祝日を除く)
- ◎相談時間 9:00～16:00

※事前に電話で予約を受け付けます。

- ◇中央教育相談所 : 025-545-9247
- ◇南教育相談所 : 025-522-2428
- ◇北教育相談所 : 025-545-0780



「もっと早く相談に来れば良かったです。」
 初めて来室した子が、相談後に話してくれたことがあります。多くの子にとって相談室を訪れることは勇気のいることだと思います。

少しでも来室しやすくなるように、機会を捉えて子どもたちに伝えていきます。「小さなことでもいいのでお話ししに来てください。」「付き添いの方が必要な人は一緒でもいいですよ。」「得意なことや今頑張っていることを話したいという人もどうぞ来てください。」

各学校でも、担当の先生を中心に、毎回放送で呼び掛けたり相談室の環境を整えたりしてくださっています。先生方が気になる子どもに声を掛けて勧めてくださったおかげで来室・相談に至るケースも少なくありません。

子どもたちにとって一番相談しやすいのは家族の方や先生方、友達でしょう。それでも様々な理由で相談できずに悩んでいる子が取り残されないように、これからも各学校の先生方と連携し、誰もが安心して来室できる相談室の運営に努めていきたいと思っています。

